

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和6年12月27日

施設名	美術館	所管課	文化生活部文化国際課
-----	-----	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県文化財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設所在地	高知市高須353番地2		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品及び美術に関する資料の収集、保管及び展示 ・美術に関する専門的な調査研究 ・美術に関する講演会、講習会、研究会等の教育普及活動 ・美術品等の展示のための県民ギャラリーの提供 ・音楽、演劇等の鑑賞のためのホールの提供 ・上記のほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な業務 		
施設内容	<p><建物> 延べ床面積:11,723㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造地上3階建 <土地> 15,912㎡ 駐車場 144台 <主要施設> 常設展示室、企画展示室、石元泰博展示室、県民ギャラリー、講義室、創作室、ミュージアムショップ、レストラン、美術館ホール(399席)など <開館時間> 午前9時～午後5時(ホール、リハーサル室及び楽屋は午前9時～午後10時) <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> 常設展 一般370円・大学生260円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 県民ギャラリー22,240円(1日)、企画展示室55,630円(1日)ホール37,770～96,200円(1日)</p>		
職員体制	常勤職員: 13人	契約職員: 12人	非常勤: 1人 合計: 26人

※職員数は令和5年4月1日現在

2 収支の状況

単位:千円

		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
収入	県支出金	344,745	344,254	369,087
	事業収入	51,719	55,185	63,354
	その他	55,055	79,864	11,181
	収入計	451,519	479,303	443,622
支出	事業費	434,364	476,487	443,622
	(うち人件費)	(135,807)	(126,064)	(140,729)
	その他	0	2,816	0
	支出計	434,364	479,303	443,622
収支差額(a)-(b)		17,155	0	0

3 利用状況

	令和4年度(実績)		令和5年度(実績)		前年度比較
	人数	人数	人数	人数	
① 年間利用者数 合計 (単位:人)	常設展	4,967人	常設展	7,199人	+ 2,232人
	企画展	26,419人	企画展	186,960人	+ 160,541人
	美術館ホール	3,299人	美術館ホール	5,454人	+ 2,155人
	小計	34,685人	小計	199,613人	+ 164,928人
	貸館	24,585人	貸館	25,344人	+ 759人
	貸館(ホール)	32,099人	貸館(ホール)	27,681人	- 4,418人
	県民ギャラリー	30,869人	県民ギャラリー	59,469人	+ 28,600人
	小計	87,553人	小計	112,494人	+ 24,941人
	合計	122,238人	合計	312,107人	+ 189,869人

② 利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)
	・来館者の満足度を把握するため、企画展やホール事業ごとにアンケート調査を行うとともに、年間を通して据え置き型のアンケートを館内に設けサービス全般のニーズを把握している。
	○ 利用者意見等を踏まえた対策
	・来館者のニーズを職員全員で共有するとともに、必要に応じてレストランや貸館の主催者にも伝達し、改善策の検討を求めている。 ・サービス部会を定期的に開催し、日々の業務やアンケート等から得られた利用者のニーズや課題への対策を検討・協議し、定期的に会議で語りながら実施に移している(例:館内展示室サインの見直し、デジタルサイネージの設置など)。 ・来館者が臨時駐車場で転倒する事案が発生した際には、臨時駐車場の管理者(県土木部)と協議し、転倒の原因となった側溝の修繕を速やかに実施するなど、来館者の安全対策に適宜適切に取り組んだ。
③ その他特記事項	

4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	・高知県立美術館の設置及び管理に関する条例や基本協定書、仕様書及び事業計画に基づく適正な運営管理が実施されている。 ・経年劣化した設備の更新を、県で対応する大規模工事と連動して計画的に実施できている。
②利用者サービスの維持向上	・事業ごとにアンケート調査を実施し、館内で情報共有し、都度対応することができている。
③利用実績	・事業内容に対応した広報を効果的に行うことができている。特にSNSを活用した広報に力を入れることで、県民のみならず、県外からも集客することができている。 ・常設展、企画展ともに前年度の利用者数を上回り、要求水準である年間5万人の目標人数を達成することができている。また、「ジブリパークとジブリ展」のような特別展を開催し、広く県民が文化に触れる機会を提供することができている。
④収支の状況	・ホール事業に関しては、昨年度より舞台公演の数を増やしたり、国内外からの情報収集に努めたことで、入場料収入を大幅に増加させることができている(前年度比227%)。また、文化庁及び助成団体から助成金等の外部資金の調達に努め、質の高いホール事業を提供することができている。 ・展示に関しては、充実した企画展を実施し、観覧料収入を増加させることができている(前年度比117%)。また、特別展を開催し、観覧者を大幅に増やすことができた。
総合評価	<p>・高知県立美術館の設置及び管理に関する条例や基本協定書、仕様書及び事業計画に基づく適正な運営管理が実施されていると認められる。</p> <p>・適切なアンケートの実施と、それらの意見をフィードバックする体制が整っている。</p> <p>・充実した企画展や質の高いホール事業を開催し、目標人数である年間5万人の観覧者を達成することができている。</p> <p>・観光博覧会「らんまん」に関連した企画展を行ったり、県外からも集客できるような魅力的な事業を行う等、高知県の観光に結びつくような優れた管理運営が遂行されている。</p>
	A

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの